

「学校における業務改善」

「薩摩川内市立川内北中学校」の実践紹介

効果が期待される取組

業務改善をテーマとした校内研修を通して、全職員で取り組む「1Action」と個人で取り組む「1Try」を設定し、1Tryをまとめ視覚化し1Tryの共有化を図った。

実施前の課題

- ・ 業務改善に対する意識が低い。(意識改革の必要性)
- ・ 業務改善に関する課題の明確化が必要である。
- ・ 客観的に業務改善を指摘する場が必要である。(校内衛生委員会の活用)
- ・ 業務改善に関する職員の達成感や充足感が低い。



実施後の成果

- ・ 研修を通して1Actionを決定することで職員の取り組む姿勢が向上した。
- ・ 1Tryの視覚化により、互いの1Tryの活用ができた。
- ・ 校内衛生委員会と連携し業務改善の取組に関する意見や改善策を協議し反映した。
- ・ 業務改善アクションプラン一覧表で個人評価することで、達成度が視覚化され意識の向上につながった。

業務改善を目指した取組の詳細

- 校内研修と校内衛生委員会が連携し、PDCAを踏まえた業務改善推進の取組

【校内研修】

- 1 四つの視点（県の四つの重点取組）により業務上の問題点を洗い出し、課題として共有する。
- 2 職員をグループに分け、問題点を分類し一覧表にまとめ、改善点を協議する。（「いつ、どこで、だれが、どのように」を決定し実施計画の策定）
- 3 達成度を個人で評価し、視覚化し達成度を共有化する。

学校における業務改善アクションプラン（川内北中学校）【集計結果】 A：完全に実施 B：一部実施 C：今後実施予定 D：検討が必要である E：実施不能										
課題業務	番号	改善内容（アイデア）	8/1にグループから出された	評価（人）					達成率	
				A	B	C	D	E		
業務改善に対する意識改革	1	出退勤時刻記録システムなどを活用して、教職員の勤務時間を把握し、実態に応じた改善案を提案する。	1	B	8	23	6	3	0	8 / 23
	2	勤務時間を考慮した給食課等の（職務の不要時の中止）	2	B	18	14	7	2	0	18 / 14

四つの視点

課題に対する改善点

個人で評価を行い業務改善の進捗状況を視覚化し達成感の向上につなげる。

- 4 一覧表から全職員で取り組むことのできる1Actionを決定する。（月に一度、完全定時退校日を行うことにする。）
- 5 1Actionから1Tryを作成し、一覧にして共有化する。

【校内衛生委員会】

- 1 勤務実態調査の平均時間の集計より退校時間等の適正化について協議する。
- 2 研修で洗い出した課題について検討し、職員会議に提案する。

今後の課題、計画

- 個人によって、業務改善への取組や意識の差がある。
- 個人の取組や業務改善の達成度をより明確化することで、各々が主体的に業務改善に取り組む、意識の向上を図る。